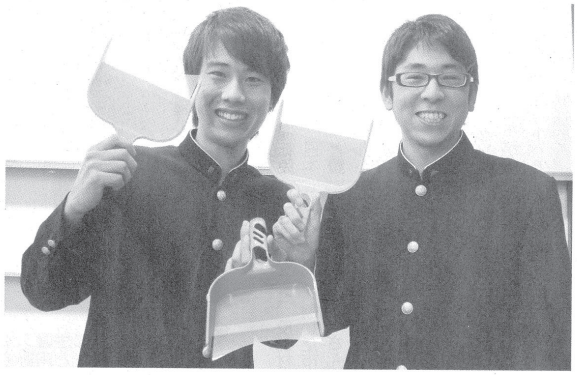
全国高等学校ビジネスアイディア甲子園

第15回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園で グランプリを受賞した「愛知県立豊橋工業高等学校」が 2016年12月16日に東愛知新聞・東日新聞に掲載されました。

県立豊橋工業高校電子機械科3年の吉田純君と成瀬三志郎君の2人が、17日に大阪府内で開催される「第15回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」（経済産業省など後援）の最終審査に出場する。同校からの最終審査出場は5年連続の快挙、初の連覇にも期待がかかる。（千葉敬也）

全国高校ビジネスアイディア甲子園



「キャッチリトリ」を紹介する吉田君㊧と成瀬君＝豊橋工業高校で

お掃除革命「キャッチリトリ」

豊橋工業から5年連続最終審査出場

吉田君と成瀬君が考案

コンテストは全国の高校生が対象で、問題解決能力の育成やキャリア教育などとして実施。今年は総数で8483作品の応募があり、書類選考で選ばれた6作品のみが最終審査に出場する。

2人が考案したのは、ちり取りの先端を改造したアイディア作品「キャッチリトリ」。ちり取りを使う際、ゴミやほこりの取りこぼしが発生してしまうことに着目。原因がちり取りの先端形状に見られる厚みや地面との隙間などにあるとし、先端へ曲線状に加工した薄い透明フィルム（0・3ミリ）を取り付けた。ちりと接地面の相対角度や授業で習う展開図などを考えながら、試作品の検証実験を繰り返し、取りこぼしをなくす最適な形状を合理的に導き出し完成させた。

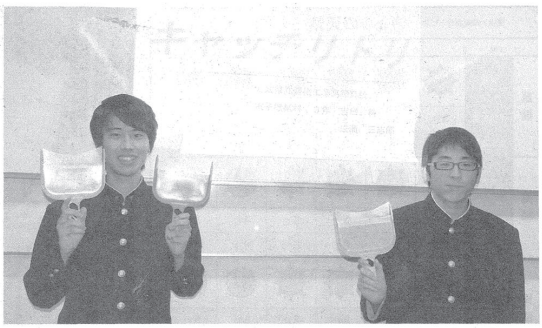
2人は家庭や職場など掃除場面での活躍を期待しており、本番では「お掃除革命」としてプレゼンする。担当の小久保寿也教諭は「専門性を生かし、工業高校らしく仕上がった」と完成度を評価している。

本番はアイディアの独創性や企画能力、表現力などが審査され、2人は「連覇がかかっている。後輩に流れをつなげるためにもグランプリを目指したい」と意気込みを語った。

同大会では15年の記念大会となり、同校が2度グランプリを受賞しているなど過去出場成績が評価され、起業教育特別賞を受賞することが決まっているという。

↑東愛知新聞掲載記事

↓東日新聞掲載記事



「キャッチリトリ」を手にする吉田君㊧と成瀬君（豊橋工業高校で）

あす全国高校ビジネスアイディア甲子園

力強く「絶対優勝を」

豊橋工高の吉田君と成瀬君 プレゼン練習 高まる熱気

17日に大阪商業大で開かれる「全国高校ビジネスアイディア甲子園」に、豊橋工業高校電子機械科3年の吉田純君（18）と成瀬三志郎君（同）が出場する。同校からの出場は5年連続。本番に向け、2人はプレゼンテーションの練習に余念がない。（中嶋真吾）

全国の高校生が新しい商品やサービスのアイデアを競う大会で、今年は8483作品の応募があった。書類審査を経て、全国大会（甲子園）出場6作品の1つに豊橋工業高が選ばれた。

2人が考案した「キャッチリトリ」は、ちりとりでごみを集める際、取りこぼしをなくしたいとの思いから生まれた作品。今年6月末から構想に取り掛かり、ちりとりでごみを取りづらいのは取り口の厚みが原因だと考え、フィルムを貼って薄くするアイデアに行き着いた。

さらに最適なフィルムの形状を探るため夏休みに試行錯誤を重ね、最適な曲線を導き出した。

大会当日は5分間でプレゼンテーションを行う。時間内に作品がいかに優れているかを伝えるため、2人は練習を繰り返してきた。

本番が直前に迫り、吉田君は「絶対連覇したい」、成瀬君は「頑張って練習したので、出場するからには絶対優勝します」と力強く語った。

※東愛知新聞・東日新聞の許諾を得て転載しています。